



## 世界遺産「百濟歴史遺跡地区」

「百濟歴史遺跡地区」は、5～7世紀における東アジア三国（韓国・中国・日本）の古代王国間による交流状況のほか、それに伴う建築技術の発展や仏教の普及などを示す考古学的遺跡群であり、韓国の古王国・百濟の華やかな文化・宗教・芸術美などを知る上でも非常に重要な価値があります。2015年7月4日ドイツのボンで開かれた第39回世界遺産委員会で世界遺産に登録されました。



世界の地域から

写真提供：忠清南道・扶余(プヨ)郡

## 百濟時代の最後の都 忠清南道・扶余(プヨ)郡

### 百濟の歴史を再現した「百濟文化団地」

百濟の歴史文化を世界に広めるために建設された韓国最大規模の歴史テーマパークで、百濟時代の遺跡と遺物を元に当時の王宮が再現されたこの場所では、1400年前文化大国だった百濟の様子を感じることができます。



写真提供：忠清南道・扶余(プヨ)郡